# AP20 Rec'd PCT/PTO 05 JUL 2006

### 明細書

1

#### ディスク装置

#### 技術分野

[000] 本発明は、c DやDVDなどのディスク状の記録媒体への記録、または再生を行うディスク装置に関し、特に外部からディスクを直接挿入し、または直接排出できる、いわゆるスロットイン方式のディスク装置に関する。

#### 背景技術

[000] 従来のディスク装置は、トレイまたはターンテーブル上にディスクを載置し、このトレイやターンテーブルを装置本体内に装着するローディング方式が多く採用されているが、このようなローディング方式では、トレイやターンテーブルが必要な分、ディスク装置本体を薄型でするには限度があった。このため、最近では、ローディングモータによりレバー等でディスクを直接操作する、いわゆるスロットイン方式のディスク装置が存在する(例えば特許文献1)。

特許文献: 特開200-352498号公報

#### 発明の開示

# 発明が解決しよっとする課題

- [000.] しかしこのようなスロットイン方式のディスク装置では、ディスクをこのディスク装置に挿入したり取り出したりする時に、トラバースベースに支持されたスピンドルモータを下降させて、挿入のための一定のクリアランスを設ける必要がある。このため、スピンドルモータを支持しているトラバースベースを昇降させるが、トラバースベースの昇降のための距離が装置の厚み方向に必要とされる。近年、パーソナルコンピュータの小型でに伴い、ディスク装置も小型で、薄型でが求められており、スロットイン方式のディスク装置で薄型でを図る場合、トラバースベースの昇降のための距離を必要最小限に押さえる必要があった。
- [000] そこで本発明は、スロットイン方式のディスク装置で、ディスクをディスク装置に挿入したり取り出したりする時に充分なクリアランスを確保した上で、装置の薄型 \*\*を図りつ、スピンドルモータへのディスクの装着動作を確実に行っことができるディスク装

置を提供することを目的とする。

#### <sup>■果</sup>題を解決するための手段

[0005] 第1の本発明のディスク装置は、ベース本体と蓋体とからシャーシ外装を構成し、前記シャーシ外装のフロント面にディスクを直接挿入するディスク挿入口を形成し、前記ペース本体にトラバースベースを設け、前記トラバースベースにスピンドルモータとピックアップと当該ピックアップを移動させる駆動手段とを設け、前記トラバースベースを前記ベース本体側と前記蓋体側との間で変位させるトラバースベース移動手段を設けたディスク装置であって、前記スピンドルモータを弾注部材によって前記トラバースベース側に付勢して構成し、前記トラバースベース移動手段を、前記シャーシ外装に設けたローディングモータと、このローディングモータの駆動によって摺動するスライダーと、前記スライダーに設けられたトラバースカム部材と、前記スピンドルモータを前記トラバースベースに対して、下方へ移動させるスピンドルカム部材とによって構成し、前記スピンドルカム部材を前記トラバースベースに対して、下方へ移動させるスピンドルカム部材を前記スライダーに設け、前記ローディングモータによって構成し、前記スピンドルカム部材を前記トラバースベースに対して、下方へ移動させるスピンドルカム部材を前記スライダーに設け、前記ローディングモータによって前記スライダーを駆動する構成としたことを特徴とする。

第2の本発明は、第1の発明において、前記スピンドルカム部材を前記スライダーに 設けたことを特徴とする。

第3の本発明は、第1の発明において、前記スピンドルカム部材を前記スライダーと分離して前記トラバースペース側に設けたことを特徴とする

第4の本発明は、第1の発明において、前記スピンドルモータは、前記スピンドルカム部材に挿入された複数個のピンを備え、前記ローディングモータにより駆動される前記スピンドルカム部材の動作が、このヒンを介して前記スピンドルモータに伝達されて前記スピンドルモータを下降させる構成としたことを特徴とする。

第5の本発明は、第1の発明において、前記スピンドルモータは、前記ローディングモータの駆動により、前記スピンドルモータを最上昇位置とした後に前記トラバースベースを降下させ、前記トラバースベースの降下の後に前記ローディングモータを逆回転させて再び前記スピンドルモータを最上昇位置とした後に前記トラバースベースを降下させる構成としたことを特徴とする。

第6の本発明は、第5の発明において、前記スピンドルモータは、前記ローディングモータの逆回転による駆動の前に、前記スピンドルモータを起動して所定の位相又は所定時間だけディスクを回転させる構成としたことを特徴とする。

#### 発明の効果

[006] 本発明によれば、ディスク装置の薄型化と小型化を図ることが出来るものであり、特に、スピンドルモータをトラバースペースに対して、下方へ移動させることが可能な構成としたので、トラバースペースの昇降距離を必要最小限に押さえても、ディスク挿入のためのクリアランスを確保することができ、更なるディスク装置の薄型化が可能となる。

#### 図面の簡単な説明

- [0007] 「図1]本発明の一実施例によるディスク装置のベース本体の概略平面図
  - [図2]同ディスク装置の蓋体の平面図
  - [図3]同ディスク装置のシャーシ外装のフロント面に装着されるベゼルの正面図
  - [図4]同ディスク装置の要部平面図
  - [図5]ロートエジェクト状態を示すトラバースカム部材の側面図
  - [図6]同状態を示すスピンドルカム部材の側面図
  - [図7]同状態を示す同ディスク装置の要部側面図
  - [図8]スピンドルモータが上昇した状態を示すトラバースカム部材の側面図
  - [図9]同状態を示すスピンドルカム部材の側面図
  - [図10]同状態を示す同ディスク装置の要部側面図
  - [図11]チャッキング状態を示すトラバースカム部材の側面図
  - [図12]同状態を示すスピンドルカム部材の側面図
  - [図13]同状態を示す同ディスク装置の要部側面図
  - [図14]チャッキングにおける最上昇位置を示すトラバースカム部材の側面図
  - [図15]同状態を示すスピンドルカム部材の側面図
  - [図16] 同状態を示す同ディスク装置の要部側面図
  - [図17]記録・再生状態を示すトラバースカム部材の側面図
  - [図18]同状態を示すスピンドルカム部材の側面図

[図19]同状態を示す同ディスク装置の要部側面図

[図2 0]本発明の他の実施例におけるディスク装置の概略を示す平面図

[図2i]同装置のスライダー3B側から見たトラバースベース2及びスピッドルカム部材

3 OBの分解側面図

[図22] 同装置のスライダー3A側から見たトラバースベース2及びスピッドルカム部材

3 OAの分解側面図

[図23]同装置のロード·エジェクト状態を示すスピンドルカム部材の側面図

[図24]同装置のスピノドルモータが上昇した状態を示すスピノドルカム部材の側面図

[図25]同装置のチャッキング状態を示すスピンドルカム部材の側面図

[図26] 同装置のチャッキングにおける最上昇位置を示すスピンドルカム部材の側面

図

[図27]同装置の記録・再生状態を示すスピノドルカム部材の側面図

# 符号の説明

[8000]

- 1 スピノガルモータ
- 2 トラバースベース
- 3A スライダー
- 3B スライダー
- 4 排出レバー
- 5 挿入レバー
- 6 ローディングモータ
- 12 スピンドルバネ
- 16 スピパピ
- 17 トラバースビノ
- 3 OA スピンドルカム部材
- 3 0B スピンドルカム部材
- 40 トラバースカム部材
- 100 ベース本体
- 200 蓋体

202 凸状部

400 デ 4スク

600 ピックアップ

## 発明を実施するための最良の形態

[0009] 本発明の第1の実施の形態によるディスク装置は、スピンドルモータを弾性部材によってトラバースベース側に付勢して構成し、トラバースベース移動手段を、シャーシ外装に設けたローディングモータと、ローディングモータの駆動によって摺動するスライダーと、スライダーに設けられたトラバースカム部材と、スピンドルモータをトラバースベースに対して、下方へ移動させるスピンドルカム部材とによって構成し、ローディングモータによってスピンドルカム部材を駆動する構成としたものである。本実施の形態によれば、スピンドルモータをトラバースベースに対して移動させることができるため、ベース本体と蓋体との際間を狭くすることができる。

本発明の第2の実施の形態は、第1の実施の形態によるディスク装置において、スピンドルカム部材をスライダーに設けたものである。本実施の形態によれば、スライダーにトラバースカム部材だけでなくスピンドルカム部材を設けることで、省スペースでトラバースカム部材とスピンドルカム部材とを設けることができる。

本発明の第3の実施の形態は、第1の実施の形態によるディスク装置において、スピンドルカム部材をスライダーと分離してトラバースペース側に設けたものである。本実施の形態によれば、スピンドルカム部材をスライダーと分離させることで、部材の精度誤差の影響を少なくして、スピンドルモータの昇降動作を安定して行わせることができる。

本発明の第4の実施の形態は、第1の実施の形態によるディスク装置において、スピンドルモータは、スピンドルカム部材に挿入された複数個のヒンを備え、ローディングモータにより駆動されるスピンドルカム部材の動作が、このピンを介してスピンドルモータに伝達されてスピンドルモータを下降させる構成としたものである。本実施の形態によれば、ローディングモータの駆動によってスピンドルモータの下降を行わせることができる。

本発明の第5の実施の形態は、第1の実施の形態によるディスク装置において、ロ

ーディングモータの駆動により、スピンドルモータを最上昇位置とした後にトラバースベースを降下させ、トラバースベースの降下の後にローディングモータを逆回転させて再びスピンドルモータを最上昇位置とした後にトラバースベースを降下させる構成としたものである。本実施の形態によれば、複数のチャッキング動作を行わせることによってチャッキングを確実に行わせることができる。

本発明の第6の実施の形態は、第5の実施の形態によるディスク装置において、ローディングモータの逆回転による駆動の前に、スピンドルモータを起動して所定の位相又は所定時間だけディスクを回転させる構成としたものである。本実施の形態によれば、複数のチャッキング動作を行わせる場合に、ディスクを所定角度回転させることによってチャッキングを確実に行わせることができる。

#### 実施例

[0010] 図1は本発明の一実施例におけるディスク装置において、ベース本体の詳細を省略した概略を示す平面図である。また、図2は同ディスク装置の蓋体の平面図、図3は同ディスク装置のシャーシ外装のフロント面に装着されるベゼルの正面図である。本実施例によるディスク装置は、ベース本体100と蓋体200とからシャーシ外装が構成され、このシャーシ外装のフロント面にベゼル300が装着される。また本実施例によるディスク装置は、図3に示すベゼル300に設けたディスク挿入口301からディスクを直接挿入するスロットイン方式のディスク装置である。ベース本体100のフロント側にはディスクを直接挿入するため、ディスク挿入口301に対応して挿入スペース101を形成している。

スピンドルモータ1は、ベース本体100に設けたトラバースベース2によって保持されている。またトラバースベース2は、ディスクに対して信号を記録・再生するためのピックアップ600とピックアップ600を移動させる駆動手段(図示せず)とを保持している。そして、このトラバースベース2は、フロント側の挿入スペース101側において、仮想の回転支持軸Xにより回転支持され、トラバースベース移動手段によってトラバースベース2がベース本体100側と蓋体200側との間で変位する構成となっている。ベース本体100には、ディスク排出レバー4とディスク挿入レバー5とが設けられており、ディスクの挿入・排出は、これらのレバー4、5によってなされる。すなわち、ローディング

モータ6を駆動し、この駆動力が歯車群7を介してスライダー3A、3Bを移動させ、スライダー3Aに連結したリンク群9とヒン群10による公知の機構により行なわれる。

- [0011] 図2は蓋体200を示し、蓋体200には、図1に示すスヒンドルモータ1の回転台1Bに対向する位置において、この回転台1Bに向かって突出するように凸状部202が設けられている。蓋体200の外縁部には、複数のピス孔203が設けられ、蓋体200は、ピスによってベース本体100に取り付けられる。蓋体200の中央部(凸状部202の中央でもある)には、開口部201が設けられている。この開口部201は、ディスク400の中心孔よりも大きな半径の円形開口である。従って、ディスク400の中心孔に嵌合するスピンドルモータ1のハブ1A(図1参照)よりも大きな開口である。
- [0012] 次に、トラバースペース2を変位させるトラバースペース移動手段について説明する

図4は同ディスク装置の要部平面図であり、トラバースベース2およびスライダー3A、3Bを示している。また、図5はトラバースカム部材の側面図、図6はスピンドルカム部材の側面図である。

スピンドルモータ1 は、トラバースベース2 に対して独立して上下動可能なよっに、三ヶ所の支持部11 により支持されている。また、スピンドルモータ1 は、トラバースベース2 に設けた支持部11 において、スヒンドルバネ12 (図7~図皿参照) によってトラバースベース2 側に付勢されており、通常はトラバースベース2 に当接している。トラバースベース2 側に付勢されており、通常はトラバースベース2 に当接している。トラバースベース8動手段は、ベース本体1 00に設けたローディングモータ6と、このローディングモータ6の駆動によって摺動するスライダー3Aに設けたスピンドルカム部材3 0Aと、スライダー3Bに設けたスピンドルカム部材3 0Bにより構成される。なお、スライダー3Aとスライダー3Bとは、連結レバー14によって連結され、スライダー3Bは、スライダー3Aとともに動作する。

[0013] スライダー3Bには、トラバースカム部材4 Oが設けられ、このトラバースカム部材4 Oには、ベース本体1 OOに固定されたベースピン18が摺動するベースカム41と、トラバースペース2 に設けられているトラバースピン17が摺動するトラバースカム42が設けられている。

スピンドルカム部材3 0B及びトラバースカム部材4 0は、スライダー3Bとともに水平

方向に移動するとともに、ベースピン18によってスライダー3Bに対して垂直方向に移動する。スピンドルヒン16は、スピンドルカム部材3 QBのスピンドルカム31内を摺動し、トラバースヒン17は、スピンドルカム部材3 QBのトラバースカム32内とトラバースカム30内とトラバースカム部材4 Qのトラバースカム42内を摺動する。

そして、ローディングモータ6によってスライダー3A、3Bが移動すると、スピンドルカム部材3 (A、3 (B、及びトラバースカム部材4 0が駆動される構成となっている。

本実施例では、トラバースベース移動手段として、スピンドルカム部材3 QA、3 QBとトラバースカム部材4 Qによって構成したが、一つのカム部材に複数のカム部材の機能を持たせてもよいし、また更に多くのカム部材で構成してもよい。

[0014] 図5から図19を用いて同ディスク装置の更に詳細な構成と動作について説明する。 図5から図7は、ロード・エジェクト状態を示し、図7は同ディスク装置の要部側面図 である。

図8から図1 0は、スピンドルモータが上昇した状態を示し、図8はトラバースカム部材の側面図、図9はスピンドルカム部材の側面図、図1 0は同ディスク装置の要部側面図である。

図皿から図13は、チャッキング状態を示し、図11はトラバースカム部材の側面図、図12はスピットルカム部材の側面図、図13は同ディスク装置の要部側面図である。

図14から図16は、チャッキングにおける最上昇位置を示し、図14はトラバースカム部材の側面図、図15はスピンドルカム部材の側面図、図16は同ディスク装置の要部側面図である。

図17から図19は、記録・再生状態を示し、図17はトラバースカム部材の側面図、図18はスピッドルカム部材の側面図、図19は同ディスク装置の要部側面図である。

図5から図19は、ディスク4 00のスピンドルモータ1への装着動作の各状態を示している。トラバースベース2は、ディスク4 00が挿入された後、フロント側の回転支持軸Xを支点としてスピンドルモータ1が蓋体2 00に近接する方向に変位する。スピンドルモータ1側が蓋体2 00に最も近接する方向に動作させた状態の時(図8から図1 0に示す)、ディスク4 00は、蓋体2 00に当接し、スピンドルモータ1との間に挟まれて、スピンドルモータ1の回転台1Bに設けたディスク保持機構5 00によりスピンドルモータ1に

装着される。

ディスク保持機構5 00は、保持爪5 CLと弾注部材5 CDとを備えており、ディスク4 00 がスヒンドルモータ1と一体に回転可能なよっに保持爪5 CLがディスク4 00を保持する第1の状態と、第1の状態とは異なる第2の状態(保持爪5 CLより上方にディスク4 0 Oが位置し、ディスク保持機構5 00によりスピンドルモータ1にディスク4 00が装着されていない状態)とを有する。

[0015] まず、図5から図7に示すように、ロード・エジェクト状態では、ディスク4 00がスピンドルモータ1の上方に配置(ディスク保持機構5 00は第2の状態)され、又はディスク4 0 0が配置可能な空間を形成している。このとき、トラバースカム部材4 0とスピンドルカム部材3 0Bは、スライダー3A側に最も近接した位置にある。この状態では、図5に示すようにトラバースカム部材4 0は、ベースヒン18に対して最も低い位置にある。また図6に示すようにスピンドルヒン16は、スピンドルカム部材3 0Bに対して最も低位置のスピンドルカム31内にある。従って、図7に示すようにトラバースベース2はベース本体1 00側に最も近接した位置にあり、スピンドルモータ1もベース本体1 00側に最も近接した位置にある。

ディスク4 00がスピンドルモータ1 の上方に配置された状態で、スピンドルモータ1 の上昇が始まる。

- [0016] 図8は、トラバースカム部材4 0が水平方向に所定距離X1だけ移動した状態を示している。図8に示す状態では、ベースヒン18は図5と同一高さのベースカム41内に配置されているので、トラバースベース2はベース本体1 00側に最も近接した位置を維持している。一方、図9に示すようにスピンドルヒン16は、スピンドルカム31内を上昇するので、スピンドルモータ1はベース本体1 00から離間する方向に移動する。このようにスピンドルモータ1が上昇することで、図1 0に示すようにディスク保持機構5 0 0はディスク4 00に当接する。
- [0017] 図11は、トラバースカム部材4 Oが水平方向に所定距離X2だけ移動した状態を示している。図皿に示す状態では、ベースヒン18は図5ょり低い位置のベースカム41 内に配置されるので、トラバースカム部材4 Oは垂直方向に所定高さZ1だけ移動する。一方、図12に示すよっにスピンドルヒン16は図9と同じ高さのスピッドルカム31内に

あり、トラバースカム部材4 Oとスピンドルカム部材3 OBとはトラバースヒン17によって同一高さを保持されるため、スピンドルモータ1 は垂直方向に所定高さZ1だけ移動する。このようにスピンドルモータ1 がトラバースペース2とともに上昇することで、図13に示すようにチャッキング動作となる。

- [0018] 図14は、トラバースカム部材4 0が水平方向に所定距離X3だけ移動した状態を示している。図14に示す状態では、ベースヒン18は図皿より低い位置のベースカム41内に配置されるので、トラバースカム部材4 0は垂直方向に所定高さZ2だけ移動する。一方、図15に示すようにスピンドルヒン16は図12と同じ高さのスピンドルカム31内にあり、トラバースカム部材4 0とスピンドルカム部材3 0Bとはトラバースヒン17によって同一高さを保持されるため、スピンドルモータ1は垂直方向に所定高さZ2だけ移動する。このようにスピンドルモータ1がトラバースペース2とともに上昇することで、図16に示すようにスピンドルモータ1が最上昇位置となり、蓋体2 00の凸状部2 02がディスク4 00に当接し、この凸状部2 02 により、ディスク4 00が反力により押し返されて、ディスク4 00はディスク保持機構5 00側に押され、ディスク保持機構5 00の状態が第2の状態から第1の状態となり、チャッキング動作が完了する。
- [0019] 図17は、トラバースカム部材4 Oが水平方向に所定距離X4だけ移動した状態を示している。図17に示す状態では、ベースヒン18は再び図5と同じ高さのベースカム41内に配置されるので、トラバースカム部材4 Oは垂直方向に所定高さZ2だけ降下する。一方、図18に示すようにスピッドルピン16は図15と同じ高さのスピッドルカム31内にあり、トラバースカム部材4 Oとスピッドルカム部材3 (Bとはトラバースヒン17によって同一高さを保持されるため、スピッドルモータ1 は垂直方向に所定高さZ2だけ降下する。このようにスピッドルモータ1 がトラバースベース2とともに降下することで、図19に示すように、この状態では、蓋体2 OOの凸状部2 O2がディスク4 OOに当たらない状態となっている。蓋体2 OOの凸状部2 O2の下面はディスク4 OOを傷つけないように、ウレタンコーティングなどの保護膜を設けている。なお、上記の状態の内、ディスク4 OOがディスク保持機構5 OOによって完全に保持されている図16や図19の状態は第1の状態であり、それ以外の状態は第2の状態である。

なお、エジェクト動作は、ローディングモータ6(図1参照)を逆回転して上記の動作

と逆の動作を行う。すなわち、トラバースカム部材4 0は、図17の状態から、図14、図 Ⅲ、図8、図5の状態を順に移動し、スピンドルカム部材3 0Bは、図18の状態から、図15、図12、図9、図6の状態を順に移動する。

- [000 0] ここで、スピンドルモータ1は、図7に示す状態では、スピンドルバネ12の力に抗して、トラバースペース2より相対的に下降させられた状態となっている。このよっに、スピンドルモータ1をトラバースペース2に対して、相対的に下方へ移動させることで、トラバースペース2の昇降距離を必要最小限に押さえても、蓋体200とトラバースペース2との間にディスク400を挿入する空間(ディスク挿入のためのクリアランス)を充分確保することができるので、ディスク装置全体の薄型ペガ可能となるものである。
- [0021] 次に、同ディスク装置の他のローディング動作について説明する。

図5から図7に示すロー トエジェクト状態から、図8から図1 0に示すようにスピンドルモータ1を上昇させ、図皿から図13に示す状態を経由し、図14から図16に示すチャンキングにおける最上昇位置とし、図17から図19に示すようにトラバースベース2を降下させる。

ここまでの動作を行った段階で、スピンドルモータ1を起動して所定の位相又は所定時間だけディスク400を回転する。

所定の位相又は所定時間だけディスク4 00を回転させた後にスピンドルモータ1を停止し、ローディングモータ6(図1参照)を逆回転して図17から図19に示す状態から、再び、図14から図16に示すチャッキングにおける最上昇位置を経由して、図皿から図13に示す状態としてローディングモータ6(図1参照)の回転を停止する。

ここまでの動作を行った段階で、再びスピンドルモータ1を起動して所定の位相又は所定時間だけディスク400を回転する。

所定の位相又は所定時間だけディスク4 00を回転させた後にスピンドルモータ1を停止し、ローディングモータ6(図1参照)を正回転して図皿から図13に示す状態から、図14から図16に示すチャッキングにおける最上昇位置とし、図17から図19に示すようにトラバースペース2を降下させる。

以上の動作によってローディング動作を完了する。

[0022] このよっに、一度 ローディング動作 を行った後 に、ローディングモータ6 (図1参照)を

逆回転してチャッキングにおける最上昇位置を経由させ、更にローディングモータ6(図1参照)を正回転してチャッキングにおける最上昇位置を再度経由させることで、一度のローディング動作ではチャッキングが正常に行われなかった場合であっても、二度目の最上昇位置又は三度目の最上昇位置の経由によってチャッキングを行わせることができる。特に、これら複数のチャッキング動作を行ったあたって、ディスク400を回転させるためにより確実なチャッキングを行うことができる。

[0023] 次に、他の実施例を図20から図27を用いて説明する。

図2 0は本発明の他の実施例におけるディスク装置の概略を示す平面図、図21は同装置のスライダー3B側から見たトラバースペース2及びスピンドルカム部材3 0Bの分解側面図、図22は同装置のスライダー3A側から見たトラバースペース2及びスピンドルカム部材3 0Bの側面図である。なお、上記実施例と同一機能部材には同一番号を付して説明を省略する。

[0024] 本実施例においては、トラバースカム部材4 0をスライダー3Bに設け、スピンドルカム部材3 0Bをスライダー3Bと分離させてトラバースペース2側に設けている。

すなわち、トラバースカム部材4 0は、スライダー3Bとともに水平方向に移動するとともに、ベース本体1 00に固定されたベースピン18によってスライダー3Bに対して垂直方向に移動する。なお、スライダー3Aとスライダー3Bとは、連結レバー14によって連結され、スライダー3Bは、スライダー3Aとともに動作する。

一方、スピンドルカム部材3 QA、3 QBは、第1の連結レバー14Aと第2の連結レバー14Bによってスライダー3Aの動作が伝達されることで水平方向に移動する。また、スピンドルカム部材3 QA、3 QBは、スピンドルモータ1 に固定されたスピンドルピン16 によってトラバースベース2 に対して垂直方向に移動する。なお、スピンドルカム部材3 QAとスピンドルカム部材3 QBとは、第2の連結レバー14によって連結され、スピンドルカム部材3 QBは、スピンドルカム部材3 QAとともに動作する。また、第2の連結レバー14Bは、第1の連結レバー14Aと連結ピン14Cによって連結され、第2の連結レバー14Bは第1の連結レバー14Aによって動作する。なお、第2の連結レバー14Bと第1の連結レバー14Aによって動作する。なお、第2の連結レバー14Bと第

OBとをスライダー3Aによって動作させる構成でもよい。

[0025] 図23から図27を用いて同ディスク装置の動作について説明する。

図23はロード・エジェクト状態を、図24はスピンドルモータが上昇した状態を、図25はチャッキング状態を、図26はチャッキングにおける最上昇位置を、図27は記録・再生状態をそれぞれ示している。なお図23は図6に相当し、図24は図9に相当し、図25は図12に相当し、図26は図15に相当し、図27は図18に相当し、トラバースカム部材40~トラバースペース2の移動については、図5から図19と同様であるので説明を省略する。

[0026] まず、図23におけるスピンドルカム部材30Bは、スライダー3A側に最も近接した位置にある。この状態では、図23に示すようにスピンドルセン16は、スピンドルカム部材30Bに対して最も低位置のスピンドルカム31内にある。従って、トラバースベース2はベース本体100側に最も近接した位置にあり、スピンドルモータ1もベース本体100側に最も近接した位置にある。

図24に示す状態では、スピンドルヒン16は、スピンドルカム31内を上昇するので、スピンドルモータ1はベース本体100から離間する方向に移動する。このよっにスピンドルモータ1が上昇することで、ディスク保持機構500がディスク400に当接する。

図25に示す状態では、スピンドルセン16は図24と同じ高さのスピンドルカム31内にあり、トラバースカム部材4 Oとスピンドルカム部材3 OBとはトラバースセン17によって同一高さを保持されるため、スピンドルモータ1 は垂直方向に所定高さZ1だけ移動する。このようにスピンドルモータ1がトラバースペース2とともに上昇することで、チャッキング動作となる。

図26に示す状態では、スピンドルヒン16は図25と同じ高さのスピンドルカム31内にあり、トラバースカム部材40とスピンドルカム部材30Bとはトラバースヒン17によって同一高さを保持されるため、スピンドルモータ1は垂直方向に所定高さZ2だけ移動する。このようにスピンドルモータ1がトラバースベース2とともに上昇することで、スピンドルモータ1は最上昇位置となり、チャッキング動作が完了する。

図27に示す状態では、スピンドルヒン16は図15と同じ高さのスピンドルカム31内にあり、トラバースカム部材4 0ヒスピンドルカム部材3 0Bとはトラバースヒン17によっ

て同一高さを保持されるため、スピンドルモータ1は垂直方向に所定高さZ2だけ降下する。このようにスピンドルモータ1がトラバースベース2とともに降下することで、蓋体200の凸状部202がディスク400に当たらない状態となる。

[0027] 本実施例にょれば、スピッドルカム部材3 OA、3 OBをスライダー3A、3Bと分離させて設けることで、部材の精度誤差の影響を少なくして、スピッドルモータ1 の昇降動作を安定して行わせることができる。

産業上の\*ツ用可能性

[0028] 本発明は、CD、DVD等のディスク代記録媒体の記録または再生を行っディスク装置において、ディスクを確実にスピンドルモータに装着させるためのトラバースベースの移動を最小限に制限しても、ディスクの確実な自動装着操作が可能となるスペースを確保することが可能となり、家庭用映像機器やコンピュータの周辺装置として用いられる薄型での必要なディスク装置に利用できる。

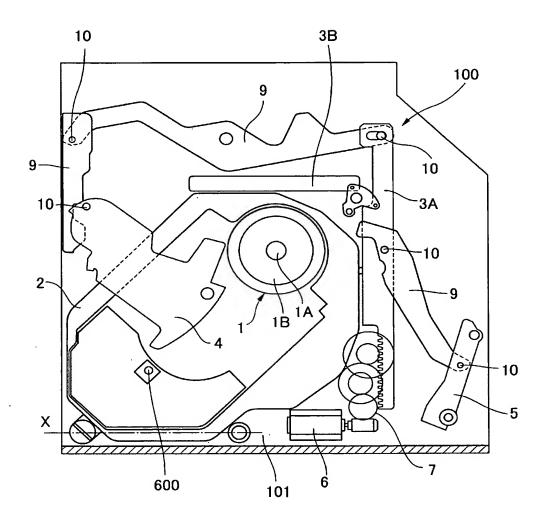
#### 請求の範囲

[1] ベース本体と蓋体とからシャーシ外装を構成し、前記シャーシ外装のフロント面にディスクを直接挿入するディスク挿入口を形成し、前記ペース本体にトラバースペースを設け、前記トラバースペースにスピンドルモータとピックアップと当該ピックアップを移動させる駆動手段とを設け、前記トラバースペースを前記ペース本体側と前記蓋体側との間で変位させるトラバースペース移動手段を設けたディスク装置であって、前記スピンドルモータを弾性部材によって前記トラバースペース側に付勢して構成し

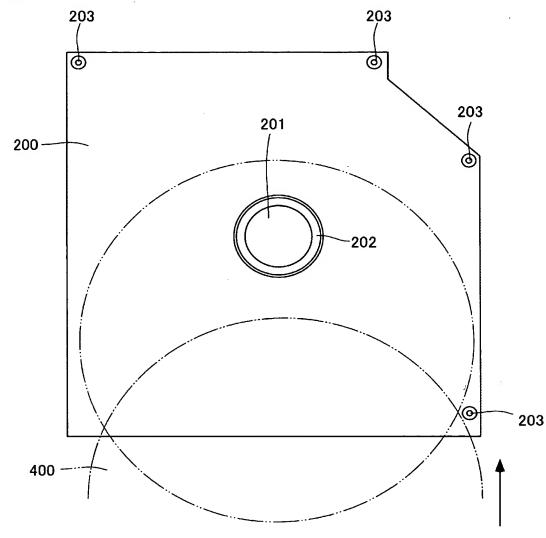
前記トラバースペース移動手段を、前記シャーシ外装に設けたローディングモータと、前記ローディングモータの駆動によって摺動するスライダーと、前記スライダーに設けられたトラバースカム部材と、前記スピンドルモータを前記トラバースペースに対して、下方へ移動させるスピンドルカム部材とによって構成し、前記ローディングモータによって前記スピンドルカム部材を駆動する構成としたことを特徴とするディスク装置

- [2] 前記スピンドルカム部材を前記スライダーに設けたことを特徴とする請求項1に記載のディスク装置。
- [3] 前記スピンドルカム部材を前記スライダーと分離して前記トラバースベース側に設けたことを特徴とする請求項1に記載のディスク装置。
- [4] 前記スピンドルモータは、前記スピンドルカム部材に挿入された複数個のピンを備え、前記ローディングモータにより駆動される前記スピンドルカム部材の動作が、このピンを介して前記スピンドルモータに伝達されて前記スピンドルモータを下降させる構成としたことを特徴とする請求項1に記載のディスク装置。
- [5] 前記ローディングモータの駆動により、前記スピンドルモータを最上昇位置とした後に前記トラバースペースを降下させ、前記トラバースペースの降下の後に前記ローディングモータを逆回転させて再び前記スピンドルモータを最上昇位置とした後に前記トラバースペースを降下させる構成としたことを特徴とする請求項1に記載のディスク装置。
- [6] 前記ローディングモータの逆回転による駆動の前に、前記スピッドルモータを起動

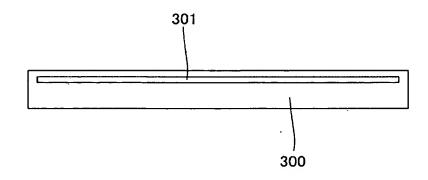
して所定の位相又は所定時間だけディスクを回転させる構成としたことを行う際とする 請求項5に記載のディスク装置。 [図1]



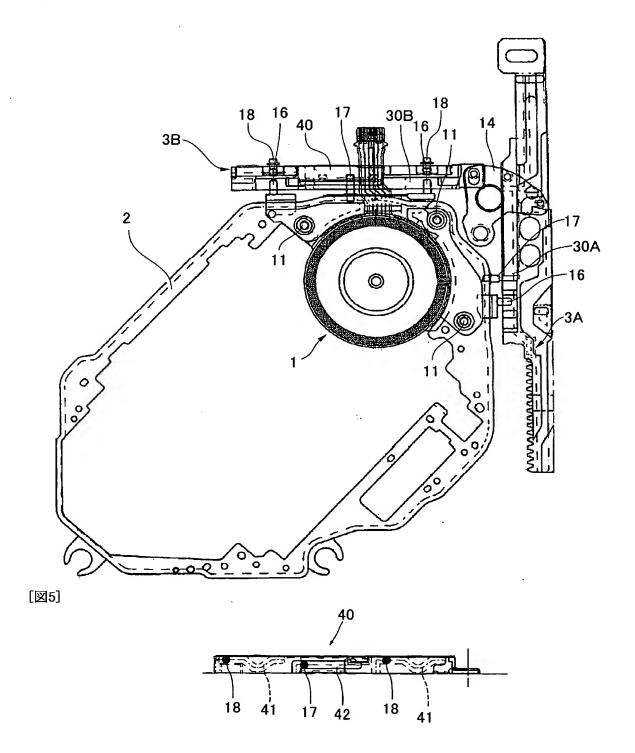




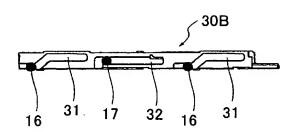
# [図3]



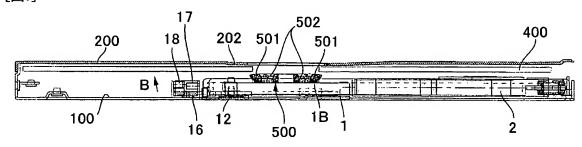
[図4]



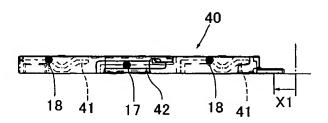
[図6]



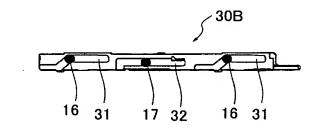
[図7]



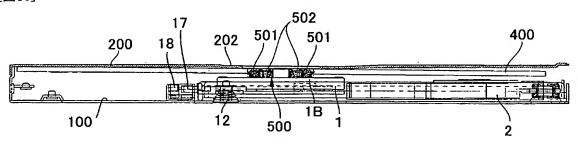
[図8]



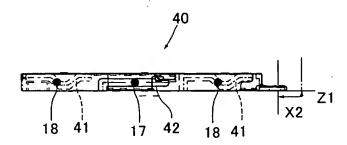
[図9]



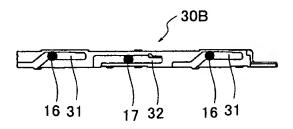
[図10]



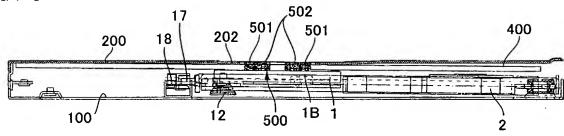
[図11]



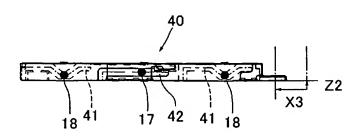
[図12]



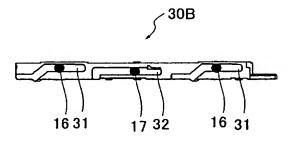
[図13]



[図14]



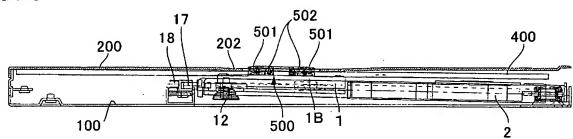
[図15]



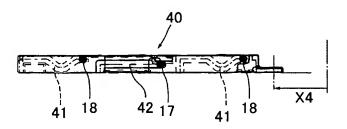
WO 2006/027907

PCT/JP2005/013830

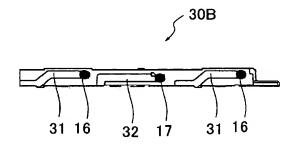




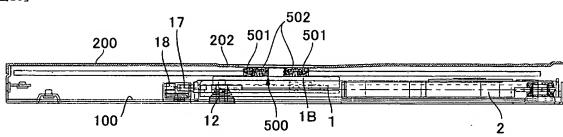
# [図17]



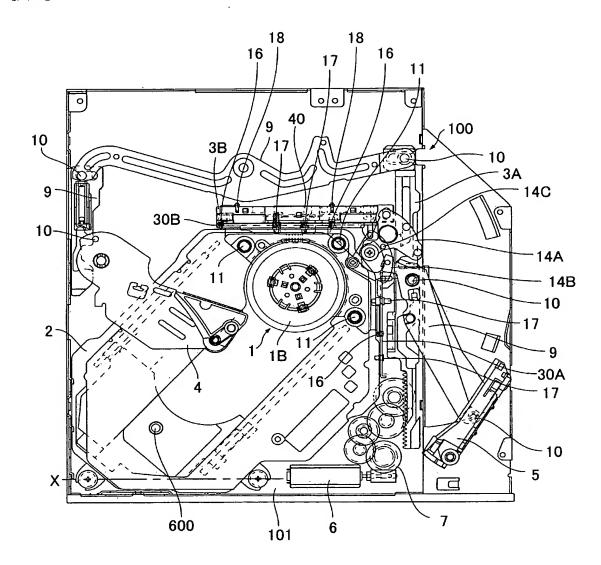
# [図18]

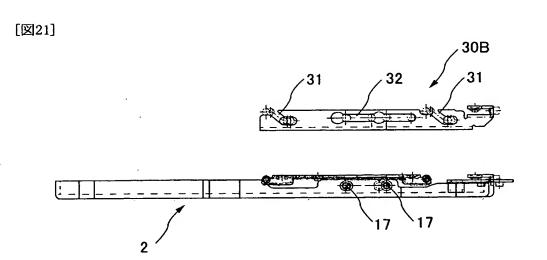


# [図19]

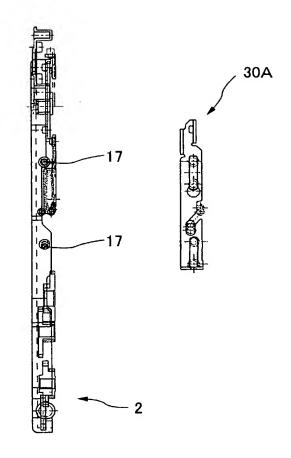


[図20]

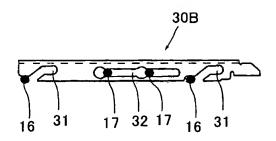




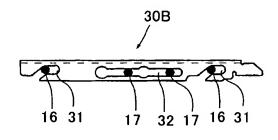
[図22]



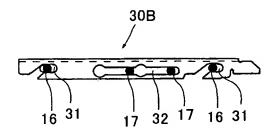
[図23]



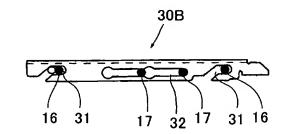
[図24]



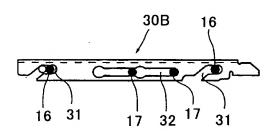
[図25]



[図26]



[図27]



## INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International applickmon No.

		РСТ/ЈР2005/013830	
A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER			
Int . Cl <sup>7</sup>	G11B1 7/035, 17/04		
According to International P tent Classifica on (IPC) or to both national classification and IPC			
B. FIELDS SEARCHED			
Minimum documenta on searched (classifio on system sillowed by classifica on symbols)  Int Cl 7 G11B17/022- 17/035 , 17/04			
Int .Cl / G11B1//022- 1//033 , 1//04			
Documentation searched other than minimum documenta on to the extent that such documents are included 面 the fields searched			
Jitsuyo Shinan Kbho 1922-1996 Jitsuyo Shinan Toroku Kbho 1996-2005			
Kokai Jits	uyo Shinan Kbho 1971-2005 Tor	oku Jitsuyo Shinan Kbh	o 1994-2005
Electrome d to base consulted during the international search (name of data base and, where prac citile, search terms used)			
C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT			
Category	Citation of document, with indication, where app	propriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	JP 2002-352498 A (Matsushita	Electric	1-6
	Industrial Co., Ltd.), 06 December, 2002 (06.12.02),		
1	Par. Nos. [0030] to [0038]; Fig. 1		
(Family: none)			
,	JP 5-109171 A (Sony Corp.),		5-6
A JP 5-1091/1 A (Sony Corp.), 5-6 30 April, 1993 (30.04.93),			3-0
	Par. Nos. [0033] to [0036]; Figs. 1 to 2		
	(Family: none)		
		•	
1			
1			
Further documents are lated in the con nuation of Box C Scc patent family annex			
*A document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance  *A becal categories of cited documents:  'T' later document published after the international filing date or pnonty date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention			
"E" earlier application or patent but published on or after the international		'X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be	
filing date "L' document which may throw doubts on priority claim(s) or which is		considered novel or cannot be step when the document is taken	considered to involve an inventive alone
cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)		'Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be	
"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means		considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination	
"P' document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed		being obvious to a person skilled in the art '&' document member of the same patent family	
Date of the actual completion of the international search  Date of mailing of the international search report  12 Sentember 2005 (12 00 05)			al search report
2 9 August	, 2005 (29.08.05)	13 September, 20	005 (13.09.05)
Name and mailing address of the ISA/			<del></del>
Name and mailing address of the ISA/ Japanese Patent Office		Authorized officer	
Facsimile No		Telephone No	

Form PCT/ISA/2 10 (sec ond sheet) (January 2004)

発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC)) Int,Cl.7 G11B17/035, 17/04

調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (1 P C))

mt.Cl.7 G11B17/022-17/035, 17/04

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報

1922- 1 996<sub>年</sub>

日本国公開実用新案公報

日本国実用新案登録公報

日本国登録実用新案公報

1971-2005年 1996-2005年 1994-2005年

国際調査で使用 した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

関連すると認められる文献 関連する 引用文献の 引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示 カテゴリーキ 請求の範囲の番号 1 - 6 A JP 2002-352498 A (松下電器産業株式会社) 2002.12.06,段落[0030]-[0038], 第1図 (7 ァミリーなし) JP 5-109171 A (ソニー株式会社) 5 - 6A 1993.04.30,段落[0033]-[0036], 第1-2図(7ァミリーなし)

#### C櫛の続きにも文献が列挙されている。

#### r パテントファミリーに関する別紙を参照。

- 引用文献のカテゴリー
- ITA」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示す ITJ 国際出願 日又は優先日後に公表された文献であって
- IE」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日 以後に公表されたもの
- 11.」優先権主張に疑義を提起する文献スは他の文献の発行 日若 しくは他の特別な理由を確立するために引用す る文献 (理由を付す)
- 「oi ロ頭による開示、使用、展示等に言及する文献
- IP 」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

- の日の役に公表された文献
- 出願と矛盾するものではなく、発明の原理スは理論 の理解のために引用するもの
- [XJ特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明 ρ新規性又は進歩性がないと考えられるもの
- 「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以 上の文献との、当業者にとって自明である組合せに よって進歩性がないと考えられるもの
- Г&J同─パテン-トファミリ- 文献

国際調査を完了した日 国際調査報告 0 発送 日 13, 9, 2005 29.08.2005 国際調査機関の名称及びあて先 日本国特許庁 (ISA/JP) 郵便番号 100-8915 5 Q 3 1 4 7 特許庁審査官(権限のある職員) 船越 亮 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号 電話番号 03-3581-1101 内線 3 5 9 1